

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」

東野小学校 だより 9月号

学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和6年 8月29日(木)

TEL:479-7280 ホームページ

FAX:482-6794 QRコード



頑張る姿、輝く姿がたくさん見られる2学期に

校長 齋藤 伸一

40日間の夏休み期間中は、気温35度を超える猛暑日が連日ように続きました。今年も記録的な暑さが続き、体調を整えるのが例年以上に厳しかったことと思います。

この夏休みの7月28日、29日に、5年生は、林間学校で秩父市の「埼玉県立大滝げんきプラザ」に行ってきました。ハイキングや夕食のカレー作り、キャンプファイヤー、長瀨のライン下りなど、秩父の自然にふれ、寝食を共にした生活を通して互いの絆を深め、思い出に残る2日間を過ごすことができました。

そして今日、子供たちが元気に登校し、学校に笑顔と活気がもどってきました。子供たちはそれぞれに有意義な夏休みを過ごしたようで、心身ともにひと回り大きくなったように感じられます。事件や事故に巻き込まれることもなく、安全に過ごすことができたのも、保護者・地域の皆様方に温かく見守っていただいたおかげと心より感謝しております。

さて、今年の夏は、7月26日から8月11日まで、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に開催されました。この大会では、32競技329種目が実施され、連日熱戦が繰り広げられました。日本は金20、銀12、銅13、計45個を獲得し、海外で開催されたオリンピックとしては、最高の結果となりました。

その中で注目された陸上競技女子やり投げの北口榛花選手と男女混合競歩リレーの岡田久美子選手には、東野小学校の子供たちが日の丸の国旗に応援メッセージを書いて届けました。

北口選手と岡田選手に応援メッセージを届けるきっかけとなったのは、昨年の11月にさかのぼります。本校の教員とのつながりから、東京有明医療大学准教授の小山先生が進めている研究の一環として、当時の4～6年生（現在の5・6年生、中学1年生）に「姿勢」の特別授業をしていただきました。その時に、サプライズとして、当時世界陸上金メダリストであった北口選手にゲストとして東野小学校に来ていただいたのです。また、競歩の岡田選手は、小山先生の授業の中に登場したアスリートの一人です。直接ご本人が東野小学校へ来ていただいたわけではありませんが、小山先生の研究に関わり、子供たちのために授業に協力いただいた選手です。そして、岡田選手は、上尾市の出身であり、偶然にも、私が約20年前に上尾市で勤務していたときの教え子でもあります。



そうしたご縁もあって、共にパリでのご活躍を応援したいということで、東野小学校の子供たちを代表して、北口選手には5年生が、岡田選手には、6年生が応援メッセージを国旗に寄せ書きし、オリンピックへ向けて出発するお二人の選手にお渡ししました。

結果はご存じのとおり、北口選手は見事金メダルに輝きました。女子のトラック・フィールド種目で日本初の金メダルとなりました。岡田選手は、メダルには残念ながら届きませんでしたが、見事8位入賞を果たしました。誠にありがとうございます。東野小学校の子供たちの熱い想いや応援が海を越え、パリに届いたのではないのでしょうか。そして、子供たちにオリンピック選手との貴重な関りにご協力いただきました、東京有明医療大学准教授の小山先生、東京都内の治療院の関係者の皆様、本当にありがとうございました。

オリンピックでは、多くの選手の活躍と感動がありました。負けず劣らず、東野小学校の子供たちも、今日から始まる2学期では、一人一人が頑張る姿、輝く姿がたくさん見られる学期になるよう職員一丸となって取り組んでまいります。また2学期は、運動会をはじめ、修学旅行、生活科・社会科見学、音楽会など多くの行事が予定されています。行事を通して、さらに成長できるように努めてまいります。

まだまだ厳しい残暑が予想されますが、今後も東野小学校の子供たちのためにご支援とご協力をよろしくお願いいたします。